

(14) 自然災害による警報発令時等の大会参加について (申し合わせ)

大会開催時に、台風接近等による暴風警報や地震警戒宣言など不測の事態が発生した場合は、参加者（生徒、引率者、監督、コーチ、役員等）のことを考え、各競技専門部委員長は大会役員、引率責任者及び関係者と連絡を密にし、大会開催の可否を判断する。

(1) 暴風警報・地震警戒宣言が発令された場合

- ① 大会会場への集合時間のおおむね3時間前の段階で、大会開催地区に暴風警報・地震警戒宣言が発令されている場合は、原則としてその日の競技は全て中止する。
- ② 大会開催中に発令された場合は、ただちに競技を中止し、情報収集を十分行い、大会役員、引率責任者及び関係者と協議をし、生徒の行動を判断する。

(2) 大会開催中に落雷の危険性がある場合

- ① 屋外競技種目において、大会開催中に落雷の危険性があると判断した場合は、ただちに競技を中断し、生徒らを非難させ、安全な場所への退避方法を検討する。審判員のみにその判断をゆだねることのないようにする。また、競技再開については、競技をする上で十分な安全確保がなされたことを確認し、大会役員、引率責任者及び関係者と協議をして決定する。安全確保が十分でない場合は、その日の競技は中止する。
- ② すべての競技種目において、大会会場からの帰宅時間に落雷の危険性があると判断した場合は、大会役員、引率責任者及び関係者と協議をし、生徒の行動を判断する。

(3) 代替日の設定について

- ① 生徒の大会参加機会の確保や全国大会等への代表校（者）決定のため、代替日が必要な場合は、会場・役員の確保、参加校の事情（学校行事ほか）等を十分考慮し、代替日を設定する。なお、大会が中止になった場合の対処として、大会予備日を事前に設定しておくことが望ましい。
- ② 対処方法については、高体連事務局にただちに報告するとともに、競技専門部長名にて参加校に文書で通知する。